関東地方

名前

問1　東京都中央卸売市場におけるキャベツの出荷量について、上位5県のうち、千葉県や茨城県などの関東地方の県が占める合計の割合を統計で示した際、その数値として適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）

1. 50パーセント
2. 70パーセント
3. 40パーセント
4. 90パーセント

問2　関東平野の台地部分を広く覆っている、富士山や箱根山などの火山活動によって噴出した物質が長い年月をかけて堆積してできた赤土の層を何といいますか。（2025年 栃木県公立入試 類似）

1. シラス台地
2. マサ土
3. 関東ローム層
4. 泥炭地

問3　群馬県沼田市周辺の地形的特徴について述べた次の文のうち、適切なものはどれですか。この地域では、片品川沿いの標高約331mにある沼田駅付近と、城跡や市街地が位置する標高417m以上の高台が、急な崖によって隔てられています。（2022年 兵庫県公立入試 類似）

1. 川の流れによって削られた平坦面と、その縁にある急な崖が階段状に重なる河岸段丘という地形が発達している。
2. 土砂が山地から平地に流れ出た場所に扇状地が形成され、その最も低い場所に沼田城跡が位置している。
3. 大規模な火山活動によって形成されたカルデラ地形であり、中央のくぼんだ場所に市街地が広がっている。
4. 河口付近に土砂が堆積してできた三角州であり、標高差がほとんどない平坦な土地に駅や住宅が密集している。

問4　日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
2. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
3. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
4. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。

問5　千葉県の産業構造について、製造品出荷額と野菜産出額の双方が高い水準にある背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を活かした工場の冷却水確保と、寒冷地特有の野菜生産が全国的に評価されているため
2. 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため
3. 県全域が山がちな地形で平地が少ないため、限られた土地を工業と農業で効率的に分け合っているため
4. 海外輸出に特化した巨大な港湾施設により、原材料の加工貿易と農産物の海外出荷が産業の柱となっているため

問6　千葉県の東京湾沿岸に広がる工業地域では、製造品出荷額の内訳において化学が約22.5%、石油・石炭製品が約19.8%、鉄鋼が約14.5%を占めるなど、重化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。この工業地域の名称を答えなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯
2. 京葉工業地域
3. 鹿島臨海工業地域
4. 中京工業地帯

問7　人口統計において、夜間人口を100とした場合の昼間人口の割合を「昼夜間人口比率」と呼びます。つくば市のように、昼間人口が夜間人口を上回っている（比率が100を超える）状況を示す統計上の説明として正しいものはどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 夜間人口 ＞ 昼間人口
2. 過疎化による若年層の流出
3. 昼間人口 ＞ 夜間人口
4. ドーナツ化現象による中心部の空洞化

問8　関東平野に広がる台地では、富士山などの噴火によって飛散した火山灰が堆積してできた、赤土の地層が厚く見られます。この地層は水はけが非常に良いという性質を持っているため、古くから水田よりも野菜などの栽培を行う農地として利用されてきました。この地層の名称と、その土地利用の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. マサ土 — 畑
2. 関東ローム層 — 水田
3. シラス台地 — 水田
4. 関東ローム層 — 畑

問9　1995年を基準とした人口変化の統計において、東京都中央区などの都心部で人口が急激な右肩上がりの増加に転じている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 多摩市などの郊外で大規模なニュータウン開発が行われ、若年層の移住が進んだため。
2. 高度経済成長期に地方から都市部への人口流入が続き、都市全体の面積が郊外へ拡大したため。
3. 地方の過疎化を防ぐために、政府が大都市への人口集中を制限する政策を実施したため。
4. 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。

問10　日本の河川について述べた次の文のうち、利根川の特徴を正しく説明しているものはどれですか。統計上の数値に基づき、適切なものを選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 東北地方で最も長い河川であり、岩手県から宮城県へと流れ、太平洋に注いでいる。
2. 日本で最も長い河川であり、その長さは約367キロメートルに及び、長野県から新潟県へと流れている。
3. 北海道で最も流域面積が広く、石狩平野を流れて日本海に注ぐ日本で2番目に流域面積が広い河川である。
4. 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。

問11　関東地方の各都県を比較した統計において、埼玉県は「昼夜間人口比率」が全国でも極めて低い水準にあります。この指標の説明および埼玉県の状況として正しいものはどれですか。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 昼間人口100人に対する夜間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく上回っている。
2. 1年間の人口流入数と流出数の差のことで、埼玉県では流入数が流出数を上回っている。
3. 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。
4. 面積1平方キロメートルあたりの昼間人口のことで、埼玉県は東京都よりも高い数値である。

問12　京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため
2. 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため
3. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため
4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため

問13　千葉県の浦安市から袖ケ浦市、富津市に至る東京湾の東岸に位置する工業地域について述べた文として、正しいものを選択してください。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。
2. 高速道路のインターチェンジ付近に、電子部品やIC（集積回路）を製造する工場が進出している。
3. 古くからの市街地を中心に、出版・印刷業や機械工業などの都市型工業が発達している。
4. 豊かな水資源と電力を利用して、内陸部でアルミニウム工業や繊維工業が発展している。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 40パーセント	東京都中央卸売市場におけるキャベツの出荷状況をまとめた統計資料によると、出荷量の上位5県には関東地方の県が多く含まれています。その合計割合は、全体を示す帯グラフなどの指標において、0から40パーセントまでの範囲を占める規模となっており、東京都にとって関東地方が主要な供給源であることを示しています。
問2	答え 3 関東ローム層	関東平野の大部分を覆うこの層は、主に富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が風に運ばれ、堆積したものです。火山灰に含まれる鉄分などの鉱物が酸化しているため、独特の赤みを帯びています。九州南部に広がる火山灰層であるシラス台地や、花こう岩が風化してできた中国地方に多いマサ土との違いを区別しましょう。
問3	答え 1 川の流れによって削られた平坦面と、その縁にある急な崖が階段状に重なる河岸段丘という地形が発達している。	沼田市は、河川の浸食作用によって形成された「河岸段丘」の代表的な例として知られています。川沿いの低地（段丘下）と、かつての河床が取り残されてできた高台（段丘面）の間には、段丘崖と呼ばれる急斜面が存在します。沼田市では、生活の拠点となる城跡や市街地は浸水被害の少ない高台に、鉄道（沼田駅）は傾斜を避けるために川沿いの低地に設置されるという、地形に応じた土地利用がなされています。
問4	答え 2 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。	日本で流域面積が最も広い河川は利根川です。また、日本の冬には大陸側から北西の季節風が吹くため、山脈を越えた関東地方では乾燥した晴天の日が多くなります。なお、信濃川は日本で最も長さが長い河川です。
問5	答え 2 東京に近いという立地を活かした大規模な工業地域と、大消費地向けの農作物の生産が両立しているため	千葉県は、東京湾沿いの埋立地を利用した京葉工業地域で化学や鉄鋼などの製造業が発達する一方、内陸の平坦な土地では東京という巨大市場に向けた野菜作り（近郊農業）が盛んになりました。この「大都市への近さ」という地理的要因が、工業と農業の両方の発展を支える共通の背景となっています。千葉県は全国的に見ても平地が多い県であり、気候も温暖です。
問6	答え 2 京葉工業地域	千葉県の臨海部に位置する京葉工業地域は、大規模な埋め立て地に石油コンビナートや製鉄所が計画的に配置されたことで発展しました。そのため、他の工業地帯と比較しても、化学、石油・石炭、鉄鋼といった重化学工業の出荷額が占める割合が極めて高いのが特徴です。
問7	答え 3 昼間人口 ＞ 夜間人口	昼間人口は「夜間人口 ＋ 流入人口 − 流出人口」で計算されます。つくば市の場合は、研究機関や大学への通勤・通学による流入人口が、他市町村へ働きに出る流出人口を上回っているため、昼間人口の方が大きくなります。これに対し、住宅が密集する周辺のベッドタウンでは、昼間に人が都心へ流出するため、夜間人口の方が多くなるのが一般的です。
問8	答え 4 関東ローム層 ― 畑	関東平野の台地部分は、火山灰が堆積してできた「関東ローム層」という地層に覆われています。この土壌は粒子が細かく隙間が多いため、水はけが非常に良く、水を溜めておく必要がある水田には向きません。そのため、根菜類や葉物野菜などの栽培を行う「畑」として活用されてきた歴史があります。
問9	答え 4 都心部において工場跡地やオフィス跡地が再開発され、居住機能を持つ高層マンションが増加したため。	1995年以降の都心部での人口増加は、バブル崩壊後の地価下落や土地利用の変化に伴う「再開発」が主な要因です。かつてはドーナツ化現象により人口が減少していた中央区などの都心部において、利便性を重視する世帯向けに大規模な住宅供給が行われました。これにより、郊外ではなくあえて都心に住むという人口の動きが鮮明になりました。
問10	答え 4 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問11	答え 3 夜間人口100人に対する昼間人口の割合のことで、埼玉県では100を大きく下回っている。	昼夜間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。埼玉県は、夜間人口が約719万人に対し、昼間人口が約637万人と大きく下回っており、比率は90人を割り込んでいます。これは、日中に県外へ通勤・通学する人口が、県内へ入ってくる人口よりも圧倒的に多いことを示しています。
問12	答え 2 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため	京浜工業地帯は、本社機能が集まる東京から横浜にかけてのエリアに形成されています。出版・印刷業は、最新の情報を取り扱う必要があるため、出版社や新聞社が集中する都市部に工場を構えることが有利に働きます。また、膨大な購買力を持つ消費者が密集しているため、輸送コストを抑えて製品を供給できるメリットもあります。
問13	答え 1 広大な埋立地を利用して、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が集中している。	千葉県側の東京湾沿岸に広がる京葉工業地域は、戦後の高度経済成長期に大規模な埋立が行われて形成されました。この地域は原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海部の利点を活かし、広大な敷地を必要とする石油化学工業や鉄鋼業といった重化学工業の割合が非常に高いことが特徴です。